

令和2年度 岡山南商工会管内業種別景気動向(事業者コメント)

2021年1月～3月

1. 建設業

- ・コロナの影響は落ち着いてきているが今後は不明である。来期は公共工事の減少により売上が減少する見込みである。
- ・コロナ禍により民間工事の価格競争が活発になっている。価格競争に巻き込まれることなく自社の特色を活かし受注するよう頑張る。

2. 製造業

- ・コロナ禍であるが例年通りの忙しさが戻った今は納期通り納めることに専念している。
- ・止まっていた受注が徐々に回復してきている感があるが、全く先が読めない状況である。

3. 小売業

- ・コロナ禍で大口の売上がなくなったが、個人客の売上は増加しており、全体の売上としては横倍である。
- ・現在受注は増えてきているがまだ、安定している状態ではない。
- ・高齢者の来店は感染症対策のため減少しており、配達要望が増えている。
- ・過去にない厳しい売上であった。3月に需要を期待しているが、厳しいと感じている。
- ・コロナ禍とお客様の高齢化と消費者ニーズの対応は負のスパイラルになっている。現状維持でいくしかないと思っている。
- ・売上が減少している。いつまでこの状況なのか。

4. サービス業

- ・来期から忙しくなってくると思うので気を引き締めて取り組んでいく。